

庭先から「ファーッ」とした上品な香りがした。ジンチョウゲの花から匂う。これを調べてみようと、米子市児童文化センターの電顕コーナーに行った。花を分解すると、花びらの奥にオシベとメシベを確認。メシベは先端は丸い柱頭でふっくらとした子房からなっていた。電顕で観るとオシベの先端のやくが破れて中には花粉がひしめき、メシベの柱頭はトゲトゲ状になっている。におい袋のようなものは発見できなかった。

電顕コーナーには、2020年度に全国や鳥取県で表彰を受けた作品が展示してあった。松江南高1年の石倉君は家の近くのキノコの菌糸や胞子、さらにはこれに寄生していた幼虫の迫力ある電顕写真を撮った。中浜小6年松本さんはスイカと水と空気の入れ替えだけでスイカ酵母を育てて電顕写真で形をとらえた。福米東小6年井上君はプラスチックごみの拡散状況を調べ、特に小さなマイクロプラスチックを観察、自然のケイソウも多数発見した。いずれも身近なところで生じた疑問を調べあげた成果である。いくつになっても好奇心は持ち続けたいものだ。

(とかみん)

(C) 新日本海新聞社 無断複写・転載を禁じます